長崎鶴洋高校と議員との意見交換会　概要

〇参加者　議員：中山功議員、冨岡孝介議員　　生徒：２年生　５名

〇発表テーマ：第九の波濤とコラボした水産県長崎の PR

〇意見交換会要旨

（冨岡孝介議員）

先ほどの発表は大変お疲れ様でした。非常に素晴らしい発表でした。

（中山功議員）

長崎が水産県であることに着目し、それを PR しようと思ってもらって大変ありがたいなと思います。また、内容について、水産業に関することだけではなく、長崎のエネルギーに関する取組や食文化などバランス良くまとめられていて、よく考えられていると思ったんですが、この漫画とコラボしようと考えたきっかけを教えてください。

（生徒）

先生からテーマの提案があり、自分たちで漫画を読み、自分たちがどう思ったのかということを考えながら盛り込みました。

（中山功議員）

どのくらいの時間をかけて資料づくりをしたんですか。

また、資料づくり等の中で、意見が合わなかったこともあると思うけど、その調整はどのようにしたんですか。

（生徒）

１か月くらいの期間で、毎週１回メンバーが集まり、みんなで話し合いながらやりました。その中で、各々が相談し、良い点や悪い点を見つけながら、しっかりと話し合いながら解決してきました。

（中山功議員）

考え方が異なる人同士が互いに意見を出し合い、その中で良い方向に持っていくというトレーニングができたことは非常に良かったと思います。

資料に「高校生が学び、伝える姿はたくさんの方々の注目をあつめることができる」とありますが、これがこの発表の趣旨だと思うんですけど、どのような形を想定しているんですか。

（生徒）

地域の小学生を訪問し、魚に関することや長崎県の水産の取組等について授業を行うなど、今まで２回ほど取組を行いました。

（中山功議員）

そのような取組を今回の発表に盛り込み、写真を交えながら発表できるとより分

かりやすかったと思うんですよね。

資料に「県内各地の高校生の力も借りることができれば」とありますが、具体的にどのような高校をイメージしていますか。

（生徒）

離島の高校や海に近い高校など、比較的水産業などに関わりのある地域の高校生の力を借りて、魚を使った料理など地域の食文化等を県内外の人にアピールできればなと考えています。

（中山功議員）

今回素晴らしい発表だったので、みんなの後輩たちにも引き継いでもらって、継続的にやってもらえるとありがたいと思います。

（冨岡孝介議員）

今日の発表で少し気になったことは、水産県長崎を高校生が発信することの意義のところがアピールとして少し弱かったなと思います。こういうことをやってくださいみたいに受け取れてしまったので、皆さんの話を聴くと、地域の小学校で授業をして、水産業を PR しているようなので、その写真を掲載するなどその部分を盛り込むとより良いものになったと思います。